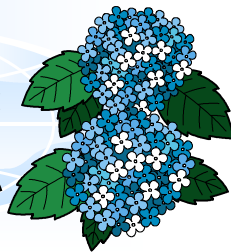


学校だより 麦の穂



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

令和4年度6月号 5/27 発行

富士宮市立富士根南小学校

全校児童 1,023人(±0人)

電話番号 26-2522

ホームページアドレス

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/08fujineminami/>

「学校ホームページ」の「学校の様子」は毎日約360人がアクセスする人気ブログになっています。



心配された5月の大型連休明けの新型肺炎ウイルス感染症の状況は、本校においては、比較的落ち着いた状況が続いております。これに伴い、感染対策特別日課も5月19日より平常日課に戻し、委員会活動や休み時間の外遊びも密を避ける工夫をしながら再開することができました。これも一重に保護者の皆様に御協力いただいております、毎朝の検温と健康観察によるものと感謝申し上げます。

県の感染対策の基準は依然として「レベル2」のままとなっております。引き続き、各御家庭における新しい生活様式の確実な実施と毎朝の検温、健康観察アプリでの報告、放課後の感染対策への声掛けなどにつきまして、御理解と御協力をお願い申し上げます。

■ 世界規模の問題を自分事として捉えること

校長 川口 秀也

今年、市政80周年を迎える富士宮市はその記念イベントの一つとして、世界的なアートプロジェクト「キッズゲルニカ」に取り組み、本校は外国語委員会の子供たちに加えのべ160人のボランティアの子供たちと共に参加する機会を得ました。

このプロジェクトは、スペインの画家ピカソが、ドイツ軍の都市無差別爆撃(ゲルニカ爆撃)に対する怒りや反戦への思いを込めて1937年に描いた「ゲルニカ」に因み、同じ大きさ(735×330)のキャンパスに、世界各国の子供たちが平和への思いを込めた絵を描くプロジェクトです。本校では、4月から本格的に準備を進め、みんなで平和とは何かを考えアイデアを出し合いながら、富士山や朝霧高原等の美しい富士宮の風景と、そこで笑顔で遊ぶ子供たちの姿(自画像)を通して日常にある平和の大切さを伝える絵を描きました。5月21日の最終日には、全校児童1023人と同じ数の平和の象徴であるデイジーの花を一つ一つ、丁寧に描き込み、明るくすばらしい作品を完成させることができました。

これからの学校は、子供たち一人一人のよさや可能性を伸ばし、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てることが求められています。だからこそ、コロナ禍、希薄になっていた世界や社会と学校との接点を回復しつつ、子供たちが、多様な物事や人々とつながり、豊かに学ぶことのできる世界(社会)に開かれた教育活動が必要です。

今回の「キッズゲルニカ」の取組は、正に子供たちが、地球規模の問題をも自分事として捉え、積極的に関わり、よりよい世界(社会)づくりに参画する意欲を高め、さらには、自ら行動する力を育む好機となりました。コロナ禍ではありますが、子供たちが社会とつながり、未来の創造を目指す教育活動を創意工夫しながら、一層充実させて参ります。

なお、子供たちが描いた富士根南小のキッズゲルニカは6/1(水)13:00~20:00に市民文化会館小ホール、7/1(金)~10(日)8:30~20:00市役所市民ホールに展示される予定です。その後、世界を巡ります。

キッズゲルニカに参加して

外国語委員長 6年 渡辺咲良さん

今、世界各地には、さまざまな理由で苦しんでいる人が沢山います。戦争、飢餓、新型コロナウイルス感染症などが多くの人の笑顔をうばっています。ですが、私たちは、平穏な生活を送ることができています。でも世界に目を向けるとこの恵まれた生活は当たり前ではないことに気がつくことができます。だからこそ、私たち小学生にもできることは何かを一人一人が考え、行動することが大切だと思います。世界の平和を実現するためには、他の国々との仲を深め助け合うことが必要です。まずは、身近な人たちの思いやる心を忘れずに生活したいと思っています。

この作品を描くに当たって、世界の平和について深く考えるよい機会になりました。世界中の子供たちが笑顔で過ごせる日が来ることを心から願っています。

(紙面の都合上一部省略しています。)

